

# 頑張れ！啓明同窓生

随分寒くなりました。卒業生のみなさま、おかわりございませんか？今回は昨年卒業した10回生の浜田愛さんを紹介します。



関西学院大学に入学してから半年が過ぎました。大学生活にも慣れて充実した日々を送っております。

私は大学生初めての夏にNGO団体を通じてスリランカを訪れました。その活動報告をさせていただきます。スリランカではオーガニックの紅茶を生産する農家にて茶摘み、そして茶葉の重量計測と質の記録をする作業に同行しました。それから茶葉の選別後、乾燥と発酵をさせる工場の見学をし、最後にパッキング会社を訪れました。このように茶葉が農家から、どのような工程でスーパーの棚に並べられる状態にいたるかを学びました。この一連の流れはすべてフェアトレードの規定に準じており、それらの紅茶はフェアトレード商品として日本で販売されています。私は、啓明学院高校の卒業論文のテーマを「なぜフェアトレードを押し進めていくべきか」としました。レイチェルカーソン著『沈黙の春』をクラスで読み進め、農薬が与える自然環境への影響について学び、オーガニックと関連付けました。論文の参考文献から想像することしかできなかった現地の様子がクリアになり、大変充実した旅となりました。これから大学での学びにもつなげていきたいと考えています。

最後になりますが、在校生の皆さんへのメッセージを送ります。啓明学院ではチャレンジ精神を日々鍛えているかと思います。さらに啓明生は大学でどの分野の勉強がしたいかじっくり考える時間が与えられています。その間に自分は何が好きなのか、何が自分をワクワクさせるか、自分と対話してみてください。そうすると卒業後どんな学びをしたいか、今現在何をすべきかわかってきます。与えられた機会に積極的にチャレンジし、自分を作り上げていきましょう。応援してくれる先生や仲間が啓明学院には大勢いるはずですよ。それでは今後も啓明学院の卒業生であることを誇りに思いつつ日々精進してまいります。在学生のみなさんとともに啓明学院につながりどこかでお会いできれば嬉しく思います。

啓明学院高等学校第10回卒業生 浜田愛

